

## 授業計画(シラバス)

科目名	ビューティ学	指導担当者名	村上 成美
実務経験	エステティシャン実務経験6年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	8 単位	総時間	120 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける。 日本エステティック試験センター筆記試験合格に向けた学びを目標とする。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テストを総合評価する。		
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	オリエンテーション	ビューティ学とは
	2	エステティック概論	エステとマッサージの違い
	3	エステティック概論	内面からきれいにする考え方
	4	解剖生理学	人体とは
	5	解剖生理学	骨格系
	6	解剖生理学	筋肉系
	7	解剖生理学	消化器系
	8	皮膚科学	皮膚の構造
	9	皮膚科学	生理機能
	10	皮膚科学	肌診断(4種類の肌)
	11	運動生理学	運動の必要性
	12	運動生理学	筋肉・呼吸器・循環器と運動
	13	期末テスト	期末試験
	14	カウンセリングシート	アドバイス
	15	運動生理学	カウンセリングシート作成
	16	解剖生理学	人体とは 細胞・組織・器官
	17	解剖生理学	構造とメカニズム
	18	解剖生理学	骨格系・筋系
	19	解剖生理学	消化器系 呼吸器系
	20	解剖生理学	循環器系 心臓・血管
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ビューティ学	指導担当者名	村上 成美
実務経験	エステティシャン実務経験6年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	8 単位	総時間	120 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける。 日本エステティック試験センター筆記試験合格に向けた学びを目標とする。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テストを総合評価する。		
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  後 期	1	解剖生理学	内分泌系
	2	解剖生理学	血液
	3	解剖生理学	ホルモン
	4	解剖生理学	免疫系
	5	解剖生理学	神経系
	6	解剖生理学	感覚器
	7	解剖生理学	泌尿器・生殖器
	8	皮膚科学	肌分析
	9	確認テスト	筆記試験
	10	テストの解説	解答解説
	11	皮膚科学	肌分析(相モデル)
	12	皮膚科学	肌トラブルの原因
	13	皮膚科学	シミ
	14	皮膚科学	老化
	15	皮膚科学	敏感肌
	16	皮膚科学	アトピー
	17	香粧品学	化粧品の定義
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	サービス接客	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	45 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 サービス接客実務検定3級の合格を目指す。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト3級」「サービス接客検定実問題集3級」		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。授業内で行う練習問題の復習をすること。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	オリエンテーション	テキスト/プリント 準備 サービススタッフの基本を考える
	2	一般常識	テキスト/プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け
	3	一般常識	テキスト/プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト/プリント 準備 明るさと誠実さを、備えている
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト/プリント 準備 適切な判断と表現を、心得ている
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト/プリント 準備 身だしなみを心得ている
	7	確認テスト	テキスト/確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト/プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト/プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト/プリント 準備 清潔感について、理解できる
	11	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト/プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる
	12	確認テスト	テキスト/確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	13	前期試験	試験問題
	14	試験フィードバック	テキスト/期末試験問題 準備
	15	確認テスト	テキスト/確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	サービス接客	指導担当者名	水野 直美	
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有	
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:	
単位数	3 単位	総時間	45 時間 週時間数 2 時間	
学習到達目標	相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 サービス接客実務検定3級の合格を目指す。			
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト3級」「サービス接客検定実問題集3級」			
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。授業内で行う練習問題の復習をすること。			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業 計画 後期	1	一般知識 社会常識	テキスト/プリント 準備 社会常識が理解できる	
	2	確認テスト	テキスト/確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック	
	3	対人技能 人間関係	テキスト/プリント 準備	
	4	対人技能 接客知識	テキスト/プリント 準備	
	5	対人技能 話し方	テキスト/プリント 準備	
	6	実務技能	テキスト/プリント 準備	
	7	後期試験	テキスト/プリント 準備	
	8	接客マナーのまとめ	テキスト/プリント 準備	
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

## 授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学 I	指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表メイクアップアーティスト実務経験38年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	日本化粧品検定3級・2級取得を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。		
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト、筆記用具
	2	PART 1 間違えがちな美容知識をチェック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.22～37
	3	PART 1 間違えがちな美容知識をチェック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.38～49
	4	PART 2 皮膚・肌について知ろう	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.52～59
	5	PART 2 皮膚・肌について知ろう	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.60～69
	6	肌の構造	表皮・真皮・皮下組織
	7	肌の構造	皮膚のしくみとターンオーバー
	8	肌の構造	皮膚の機能
	9	PART 3 肌の手入れと正しい知識	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.72～75
	10	肌タイプと見分け方	肌タイプと見分け方
	11	PART 3 肌の手入れと正しい知識	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.76～83
	12	肌悩みの原因とお手入れ	乾燥・ニキビ・毛穴・しみ・くすみ・くま・しわ・たるみ
	13	PART 3 メイクアップの基本テクニック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.94～103
	14	肌悩みに応じた化粧品の使い方	トラブル別テクニック
	15	肌悩みに応じた化粧品の使い方	トラブル別テクニック
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学 I	指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表メイクアップアーティスト実務経験38年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	日本化粧品検定3級・2級取得を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。		
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  後 期	1	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.112～119
	2	肌の劣化	外的要因・内的要因・ストレス・ホルモン
	3	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.120～125
	4	紫外線の影響	紫外線・サンケア指数
	5	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.126～130
	6	マッサージ	効果的なマッサージ・リンパ
	7	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.132～139
	8	美しい肌を作る生活習慣	睡眠・食事・運動・入浴
	9	検定試験対策	練習問題
	10	検定試験対策	練習問題
	11	検定試験対策	練習問題
	12	テスト	確認テスト
	13	検定試験対策	練習問題
	14	検定試験対策	練習問題
	15	試験	期末試験
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学Ⅱ	指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表メイクアップアーティスト実務経験38年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	日本化粧品検定1級取得を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。		
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定1級対策テキスト		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	PART 1 化粧品の歴史	テキスト使用
	2	PART 2 原料と基礎知識	化粧品の原料について
	3	PART 2 原料と基礎知識	スキンケア化粧品
	4	PART 2 原料と基礎知識	スペシャルケア、男性肌の特徴
	5	PART 2 原料と基礎知識	メイクアップ化粧品
	6	PART 2 原料と基礎知識	ポイントメイクアップ化粧品
	7	PART 2 原料と基礎知識	ボディ化粧品
	8	PART 2 原料と基礎知識	毛髪の構造とヘアケア製品について
	9	PART 2 原料と基礎知識	ネイルの構造について、香りの成分と働き
	10	PART 2 原料と基礎知識	オーラルケアとケア製品、サプリメントの基礎知識
	11	テスト	確認テスト
	12	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品と医薬品医療機器等法、化粧品・薬用化粧品・医薬部外品の効能と効果
	13	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品の広告やPRのためのルール、化粧品の全成分表
	14	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品の安全性を守るためのルール、化粧品を安全に保つために、化粧品と肌トラブル
	15	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品の官能評価
	16	PART 3 化粧品にまつわるルール	主な化粧品成分
	17	検定対策	過去問題
	18	検定対策	模擬問題
	19	模擬試験	期末試験
	20	まとめ	試験、検定の振り返り
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック I	指導担当者名	①村上成美 ②森合美穂 ③近内睦美
実務経験	①エステティシャン実務経験6年 ②エステティシャン実務経験35年 ③エステティシャン実務経験5年 美容部員8年		実務経験: ①有 ②有 ③有
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験を総合評価する。		
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワン協会テキスト(実技)		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	オリエンテーション 身だしなみ・授業について	エステティックについて学ぶ
	2	エステ室の使用の仕方・清掃・洗濯・消毒	実習のマナーを学ぶ
	3	ボディ実技導入・モデルの誘導(セッティング)	マニュアル作成をする
	4	6大手技(軽擦法・強擦法・揉擦法)	相モデルでマッサージを行う
	5	6大手技(打法・圧迫法・振動法)	相モデルでマッサージを行う
	6	6大手技練習	相モデルで実習する
	7	7大手技練習	相モデルで実習する
	8	下肢後面マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	9	背中マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	10	下肢前面マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	11	腕マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	12	腹部マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	13	全体を通してマッサージ	全体の流れを把握する
	14	全体を通してマッサージ	全体の流れを把握する
	15	中間テスト ボディ実技	期末試験
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ネイル I	指導担当者名	①五十嵐愛 ②大原麻弥
実務経験	①ネイリスト実務経験15年 ②ネイリスト実務経験11年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	180 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	ネイルの基礎を学び、ネイリスト技能検定3級、ジェルネイル初級を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	教材チェック・身だしなみ・基礎理論	教材の名前・使い方を学ぶ・検定までの意識付けをする
	2	基礎理論(爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策を行う
	3	ファイルの使い方・ケア	指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧を学ぶ
	4	ケア・カラー	プッシュアップ・ニッパーワーク・流れを説明・実習
	5	ケア・カラー	プッシュアップ・ニッパーワーク・流れを説明・実習
	6	アート	課題アートの描き方を学ぶ
	7	通し計測	計測
	8	通し計測	計測
	9	テスト	3級内容 通し計測を行う
	10	ジェルネイルの基礎	ジェルとは ドライケアを学ぶ
	11	カラーリング	ジェルとポリッシュの違いを学ぶ
	12	アート	ジェルアート(ピーコック)を学ぶ
	13	カラーリングからアート	通し計測を行う
	14	通し計測	計測
	15	ジェル初級検定	検定試験
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ネイル I	指導担当者名	①五十嵐愛 ②大原麻弥
実務経験	①ネイリスト実務経験15年 ②ネイリスト実務経験11年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	6 単位	総時間	180 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	ネイリスト技能検定2級を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画  後 期	1	前期の復習	模擬試験
	2	2級内容確認	検定の内容を学ぶ
	3	ネイルチップラップ説明	検定の準備を学ぶ
	4	ネイルチップラップ説明	溶剤の使用方法を学ぶ
	5	ネイルチップラップ説明	チップの合わせ方を実践する
	6	ネイルチップラップ説明	ハンド使用して実践する
	7	実技前半35分	相モデルで練習する
	8	実技前半35分	相モデルで練習する
	9	実技前半35分	相モデルで練習する
	10	実技前半35分	相モデルで練習する
	11	期末テスト	期末テスト
	12	実技後半55分	相モデルで練習する
	13	実技後半55分	相モデルで練習する
	14	実技試験通し90分	相モデルで練習する
	15	ネイリスト検定2級	検定試験
	16		
	17		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	メイク I	指導担当者名	①佐々木美代子 ②菅野元美 ③柳橋南	
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験1年 ③美容師実務経験12年		実務経験: ①有 ②有 ③有	
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:	
単位数	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間	
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定3級合格を目指す。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。			
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3・2級テキスト LedomメイクBOX			
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業 計画  前期	1	「メイクアップの前に」	・メイクキットの検品・メイクアップの道具手入れ・基本のセッティング例デモスト 説明	
	2	「メイクアップの前に」	・モデルのセッティング例デモスト 説明・技術者の身だしなみ・スタンス・道具の持ち方デモスト	
	3	「スキンケア①」	・スキンケアの順序・スキンケア化粧品目的、特徴・皮膚・表情筋・顔の名称	
	4	「スキンケア②」	・化粧水・美容液・乳液テクニック復習(手順を覚える)(セッティング後 実習50分)	
	5	「スキンケア③」	・スキントypesと肌の状態・化粧水・美容液・乳液テクニックトータルチェック	
	6	「スキンケア④」	・ポイントクレンジング・クレンジング実践(ティッシュ、綿棒の使いこなし的確な添え手のポイント)	
	7	「スキンケア⑤」	・ポイントクレンジング・クレンジング実践 トータルチェック (実習50分)	
	8	「スキンケア⑥」	・スキンケアテクニック トータルレッスン (実習50分)	
	9	「ベースメイク①」	・ベースメイク化粧品の目的、特徴・ベースメイクの順序(座学20分)	
	10	「ベースメイク②」	・骨格・肌色(座学20分)・ファンデーション～パウダー 実践 ハンドテクニック・ス	
	11	「ベースメイク③」	・ファンデーション～パウダー復習(セッティング後 実習50分)	
	12	「ベースメイク④」	・ベースメイクの質感・肌トラブルとメイクアップ(座学15分)・コントロールカラー	
	13	「ベースメイク⑤」	・ファンデーション～コンシーラー～パウダー 実践(セッティング後 実習50分)	
	14	「ベースメイク⑥」	・ベースメイク トータルレッスン (実習50分)	
	15	期末試験	3級試験	
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

## 授業計画(シラバス)

科目名	メイク I		指導担当者名	①佐々木美代子 ②菅野元美 ③柳橋南	
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験1年 ③美容師実務経験12年			実務経験:	①有 ②有 ③有
開講時期	通年		対象学科学年	トータルビューティ学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定2級合格を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。				
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3.2級テキスト LedomメイクBOX				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	1	「ポイントメイク」	・2級試験の指定項目のデモンストレーション		
	2	「アイブロウ①」	・アイブロウの基礎知識・アイテム・基本の描き方・アイブロウテクニック		
	3	「アイカラー①」	・アイカラーの基礎知識・アイテム・基本のアイカラーの入れ方・基本のアイカラー ブラシテクニック		
	4	「アイライン①」	・アイラインの基礎知識・アイテム・基本のアイラインの入れ方・基本のアイラインテクニック(ペンシル)		
	5	「アイライン②」	・基本のアイラインテクニック(リキッド)		
	6	「ビューラー&マスカラ」	・ビューラー・マスカラの基礎知識・アイテム・基本の使い方・基本のビューラー・マスカラテクニック		
	7	「アイメイクトータルレッスン①」	・アイブロウ、アイメイクトータルレッスン		
	8	「リップ」	・リップの基礎知識・アイテム・基本のリップの描き方・リップテクニック		
	9	「ベーシックポイントメイク」	・アイブロウ・アイメイク・チーク・リップ		
	10	「ポイントメイクトータルレッスン①」	・試験課題を意識した、ポイントメイクレッスン		
	11	「顔の分析」	・基本のプロポーション・個性の分析・バランスの分析・メイクプラン		
	12	「ベースメイク」「顔の分析・フルメイク①」	・ベースメイクテクニック(ブラシテクニック)・基本のプロポーションに近づけるフルメイク		
	13	「錯覚とメイクアップ」	・線の錯覚・直線と曲線・半顔メイク実践・色の錯覚・色彩とメイクアップ		
	14	「模擬試験」	模擬試験		
	15	2級実技試験	試験		
	16				
	17				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

## 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック I (コース授業)		指導担当者名	①村上成美 ②森合美穂 ③近内睦美	
実務経験	①エステティシャン実務経験6年 ②エステティシャン実務経験35年 ③エステティシャン実務経験5年 美容部員8年			実務経験:	①有 ②有 ③有
開講時期	後期	対象学科学年	トータルビューティ学科1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間	週時間数	6 時間
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験を総合評価する。				
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワン協会テキスト(実技)				
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画  後 期	1	純水の作り方・準備物	説明、オリエンテーション		
	2	ポイントクレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	3	クレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	4	コットン拭き取り・ホットタオルの拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	5	クレンジング通し	相モデルでクレンジングを行う		
	6	フェイシャルマッサージ	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	7	フェイシャルマッサージ	相モデルでクレンジングを行う		
	8	クレンジング・マッサージ	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	9	クレンジング・マッサージ	相モデルでクレンジングを行う		
	10	期末テスト フェイシャル実技	期末試験		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

## 授業計画(シラバス)

科目名	メイクⅡ	指導担当者名	①佐々木美代子 ②菅野元美 ③柳橋南
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験1年 ③美容師実務経験12年		実務経験: ①有 ②有 ③有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定1級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定1級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	2級内容の振り返り	2級内容と1級内容の違いを説明
	2	「イメージメイク理論」	イメージ分類・イメージに近づくポイントメイクの色・形・質感
	3	「イメージメイク実習①」	キュート・エレガントイメージメイクデザイン
	4	「イメージメイク実習②」	フレッシュ・クールイメージメイクデザイン
	5	「メイクアップの強弱①」	ポイントメイクのイメージ・ポイントメイクのバランス
	6	「メイクアップの強弱②」	アイブロウを強調したメイク
	7	「メイクアップの強弱③」	アイメイクを強調したメイク
	8	「メイクアップの強弱④」	リップを強調したメイク
	9	「メイクアップの強弱⑤」	チークを強調したメイク
	10	「1級試験概要」	試験の内容・試験のポイント・接客マナー
	11	「カウンセリング」	カウンセリングのポイント・カウンセリングシートの活用・カウンセリングロープレ
	12	「スピードスキンケア」	スピードメイクオフ～スキンケア
	13	まとめ	テキスト・メイク用具一式
	14	復習	テキスト・メイク用具一式
	15	期末試験	期末試験
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	メイクⅡ	指導担当者名	①佐々木美代子 ②菅野元美 ③柳橋南	
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験1年 ③美容師実務経験12年		実務経験:	①有 ②有 ③有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間	週時間数 3 時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定1級合格を目指す。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。			
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定1級テキスト LedomメイクBOX			
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業 計画 後 期	1	「要望に応えるフルメイク①」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)	
	2	「要望に応えるフルメイク②」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)	
	3	「要望に応えるフルメイク③」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)	
	4	「要望に応えるフルメイク④」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)	
	5	「要望に応えるフルメイク⑤」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)	
	6	「クロージング」①	・クロージングのポイント・フルメイク〜クロージング	
	7	「クロージング」②	・クロージングのポイント・フルメイク〜クロージング	
	8	「クロージング」③	・クロージングのポイント・フルメイク〜クロージング	
	9	「加齢とメイク」①	・エイジングの変化・メイクでの対応方法	
	10	「加齢とメイク」②	・エイジングの変化・メイクでの対応方法	
	11	「加齢とメイク」③	・エイジングの変化・メイクでの対応方法	
	12	「模擬試験レッスン①」	・1級実技試験内容(1クール 50分)	
	13	「模擬試験レッスン②」	・1級実技試験内容(1クール 50分)	
	14	「模擬試験レッスン③」	・1級実技試験内容(1クール 50分)	
	15	1級実技試験	テーブルセッティング 注意事項説明 カウンセリング〜スキンケア 15分 事前審査 実技試験 30分	
	16			
	17			
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

## 授業計画(シラバス)

科目名	美容実習	指導担当者名	柳橋 南
実務経験	美容師実務経験12年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	BFビューティサロンの運営を通して実践的な技術や接客を身につける。 美容業界現場・作品制作時に活用できるメイク・簡単なヘアアレンジ方法を学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席・授業態度・提出物・BFビューティサロンの売上などの総合評価。		
使用教材	エステ用品・ネイル用品・SNS		
授業外学習 の方法	SNSなどを利用して、集客の方法を考える。技術の応用練習をする。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	昨年度の振り返り	昨年度の反省と今年度の目標設定
	2	新メニュー案	反省点を基にメニューの見直しをする
	3	集客方法案	SNS発信、チラシ作成、メニューPOP作成
	4	運営準備	マニュアル作成
	5	運営準備	実践練習
	6	運営準備	プレオープン・当日準備
	7	サロン運営	エステ・ネイルサロン運営
	8	反省会	前回のサロン運営における反省会と次回の目標
	9	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	10	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	11	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	12	コテの使用方法	ウィッグを使用して練習
	13	コテの使用方法	ウィッグを使用して練習
	14	トレンドメイク	メイク道具一式
	15	まとめ	サロン当日の振り返りと反省を行う
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	美容実習	指導担当者名	柳橋 南
実務経験	美容師実務経験12年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	BFビューティサロンの運営を通して実践的な技術や接客を身につける。 美容業界現場・作品制作時に活用できるメイク・簡単なヘアアレンジ方法を学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席・授業態度・提出物・BFビューティサロンの売上などの総合評価。		
使用教材	エステ用品・ネイル用品・SNS		
授業外学習の方法	SNSなどを利用して、集客の方法を考える。技術の応用練習をする。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	前回の振り返り	反省と今回の目標設定
	2	新メニュー案	反省点を基にメニューの見直しをする
	3	集客方法案	SNS発信、チラシ作成、メニューPOP作成
	4	運営準備	マニュアル作成
	5	運営準備	1年生への引継ぎ
	6	運営準備	1年生への引継ぎ
	7	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	8	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	9	トレンドメイク	メイク道具一式
	10	トレンドメイク	メイク道具一式
	11	ネイルデザイン・アート	ネイル道具一式
	12	ネイルデザイン・アート	ネイル道具一式
	13	技術チェック	ネイル、メイク用具一式
	14	技術チェック	ネイル、メイク用具一式
	15	まとめ	サロン当日の振り返りと反省を行う
	16		
	17		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ネイル(コース授業)	指導担当者名	①大原麻弥 ②遠藤淳子
実務経験	①ネイリスト実務経験11年 ②ネイルサロンオーナー実務経験38年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	12 単位	総時間	360 時間 週時間数 12 時間
学習到達目標	JNAジェルネイル技能検定中級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	ジェルネイルテキスト、ジェルネイル用具		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	ジェル中級検定の確認	ジェル中級検定確認(実技・筆記)
	2	第一課題について	第一課題ネイルケア・カラーリングの実践
	3	第二課題について	第二課題ジェルオフについて
	4	第二課題について	第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション
	5	第二課題について	第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション
	6	第一第二課題の通しと確認	ポリッシュオフまでの通し
	7	テスト	ポリッシュオフまでの通し
	8	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリングデモンストレーション
	9	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリング実践
	10	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリングまでの通し
	11	第一第二課題の通しと確認	復習・テスト範囲確認
	12	第一第二課題の通しと確認	復習と通し・テスト範囲確認
	13	ジェル中級検定 筆記対策	筆記試験対策
	14	最終確認テスト	検定前の模擬テスト
	15	ジェル中級検定	ジェル中級検定
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ネイル(コース授業)	指導担当者名	①大原麻弥 ②遠藤淳子
実務経験	①ネイリスト実務経験11年 ②ネイルサロンオーナー実務経験38年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	12 単位	総時間	360 時間 週時間数 12 時間
学習到達目標	JNECネイリスト技能検定1級、JNAジェルネイル技能検定上級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	ジェルネイルテキスト、ジェルネイル用具		
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画 後 期	1	ネイル1級検定内容の確認	1級内容の確認とネイルイクステンション スカルプのデモンストレーション
	2	ネイル1級検定内容	ネイルイクステンション チップオーバーレイのデモンストレーション
	3	ネイル1級検定内容	ネイルイクステンションからチップオーバーレイまでを実践
	4	ネイル1級検定内容	ネイルアートのデモンストレーションと実践
	5	ネイル1級検定内容	ネイリスト技能検定1級の通し
	6	ジェル上級検定内容	ジェル上級検定内容確認
	7	ジェル上級検定内容	スカルプのデモンストレーションと実践
	8	ジェル上級検定内容	スカルプのデモンストレーションと実践
	9	ジェル上級検定内容	チップオーバーレイのデモンストレーションと実践
	10	ジェル上級検定内容	チップオーバーレイ デザインのデモンストレーションと実践
	11	確認テスト	確認テスト
	12	ジェル上級検定内容	チップオーバーレイ デザインのデモンストレーションと実践
	13	ジェル上級検定内容の通し	通し
	14	ジェル上級検定	ジェル上級検定・期末試験
	15	まとめ	まとめ
	16		
	17		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	エステ(コース授業)	指導担当者名	①森合美穂 ②村上成美
実務経験	①エステティシャン実務経験35年 ②エステティシャン実務経験6年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	12 単位	総時間	360 時間 週時間数 12 時間
学習到達目標	上級資格取得を目指す。 AEA上級認定エステティシャン(9月)		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	AEAエステティシャン問題集		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	オリエンテーション	AEAの説明
	2	FA実習	フェイシャル技術応用
	3	FA実習(カウンセリング)	フェイシャルカウンセリングシートの作成(応用)
	4	皮膚科学	AEA問題集科目別テスト
	5	BO実習	ボディ実習(応用)
	6	BO実習(カウンセリング)	ボディのカウンセリングシート作成(応用)
	7	解剖生理学・心身生理学	テキスト過去問題
	8	FAマッサージ	フェイシャル実技(応用)
	9	運動生理学・栄養学	テキスト過去問題
	10	FAカウンセリング	サロンでの実務的なサービスを学ぶ
	11	FAクレンジング・パック	サロンでの実務的なサービスを学ぶ
	12	化粧品学・エステ機器学	テキスト過去問題
	13	カウンセリング・マネジメント	AEA問題集科目別テスト
	14	東洋・西洋セラピー	AEA問題集科目別テスト
	15	まとめ	期末試験
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	エステ(コース授業)		指導担当者名	①森合美穂 ②村上成美	
実務経験	①エステシャン実務経験35年 ②エステティシャン実務経験6年			実務経験:	①有 ②有
開講時期	通年		対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	12 単位	総時間	360 時間	週時間数	12 時間
学習到達目標	上級資格取得を目指す。 AEA上級認定エステティシャン(9月)				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。				
使用教材	AEAエステティシャン問題集				
授業外学習の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画  後 期	1	生理解剖学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	2	脳生理学・運動生理学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	3	脳生理学・運動生理学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	4	栄養学・化粧品学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	5	栄養学・化粧品学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	6	電気機器・衛生消毒・救急法	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	7	電気機器・衛生消毒・救急法	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	8	カウンセリング・サロン経営・接客マナー	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	9	カウンセリング・サロン経営・接客マナー	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	10	東洋・西洋のトリートメント	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	11	脱毛学・フェイシャル・ボディ実技理論	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	12	実技試験最終確認	試験対策		
	13	ビューティセラピスト実技試験	検定試験(実技)		
	14	アロマ・リフレ・ネイル・メイク	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	15	ビューティセラピスト筆記試験模擬試験	検定試験(筆記)		
	16				
	17				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

## 授業計画(シラバス)

科目名	セルフビューティ(コース授業) パーソナルカラー	指導担当者名	五十嵐 信子
実務経験	カラーコーディネーター実務経験15年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	パーソナルカラー検定モジュール1の取得。 美容業界において通用するカラーの知識を身につける。		
評価方法 評価基準	出席率・授業態度・提出課題・試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	はじめてのパーソナルカラー・パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック・新配色カード199a		
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  通年	1	色と生活 色の種類	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	2	色の仕組み I 光について	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	3	色の仕組み II 光源、目の構造	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	4	日本の色の歴史	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	5	肌、皮膚、髪色の種類	スタジオでのトレーニング。呼吸法を取り入れながらストレッチを中心とした柔軟トレーニング
	6	パーソナルカラーの特徴	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	7	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	8	色彩心理 アートセラピー	色彩演習
	9	色彩心理 アートセラピー	色彩演習
	10	テスト	確認テスト
	11	検定試験	モジュール1受験
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	セルフビューティ(コース授業) インナービューティ	指導担当者名	①篠原 大智 ②管野 元美	
実務経験	①ホテル調理実務経験22年 ②美容師実務経験1年		実務経験:	①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:◎	実習:	実技:
単位数	3 単位	総時間	90 時間	週時間数 3 時間
学習到達目標	「料理のインナービューティ」とは、単に見た目や味だけでなく、体の内側から美しさを引き出すことを目的とした料理のことを指します。これは、美容や健康に良い食材を使い、体の調子を整えることで、肌や髪的美しさ、代謝、ホルモンバランスなどを改善しようという考え方に基づいています。			
評価方法 評価基準	出席率、授業態度、提出物、テスト			
使用教材	資料プリントを配布			
授業外学習の方法	予習復習			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業 計画  通年	1	甘酒スムージー	発酵食品(腸内環境を整える)	
	2	季節野菜のドライカレー	スパイスには、健康・美肌のために利用されている	
	3	キムチと豆腐のチゲスープ	発酵食品(腸内環境を整える)	
	4	基本メイクアップ方法	メイク道具一式	
	5	豆腐ハンバーグ(きのこあんかけ)	高タンパク・大豆製品(肌・髪・爪の材料)	
	6	トレンドメイク	メイク道具一式	
	7	いわしの梅煮+玄米定食	良質な脂・オメガ3脂肪酸(ホルモン・肌の潤い)	
	8	ブリスボール、バナナマフィン	米粉を使い糖質を減らしている	
	9	雑穀ごはんのおにぎり+味噌汁	食物繊維(便秘改善・デトックス)	
	10	確認テスト	確認テスト	
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				